

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス JOYヴィレッジ伊勢原校		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 20日		～ 令和 8年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 20日		～ 令和 8年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画書が個々のニーズに合わせて作成できている。	・利用時の様子を保護者様と共有し、家や学校、他の事業所等の様子も確認させていただきながら、その都度必要に応じてニーズに合わせて状況を確認するようにしている。	・最初のアセスメントから情報を聞き取り、利用が開始したのちも定期的にモニタリング、アセスメントを繰り返す事でニーズの確認をしながら、個別支援計画書を作成していく。
2	・自己選択ができるプログラムの提供をしている。	・利用時のおやつに「買い物学習」を取り入れる事で、食べたいか食べたくないかを始め、自分で食べたい物を選択できる機会を設定している。	・自分自身で物事を決めていく力を今から養い、集団活動(プログラム)においても、自分達で内容を選択して取り組む機会も今後増やしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の方々との交流や、地域資源の活用が少ない 【地域交流の機会】	・積極的な地域交流への意識	・地域で行われている活動の情報収集と、それに参加できるための余裕(人的、時間的)の確保。
2	・家族支援プログラムや、保護者間同士の交流・情報交換を行う機会が少ない 【家族へのアプローチ】	・保護者会は毎年1回開催しているが、祝日開催が原因かは不明だが参加者が少ない。	・保護者同士の交流の場や機会の提供を増やしていく。 ・家族が気軽に参加しやすいイベント等を企画する。
3	・学校関係者、また同業者同士の交流、情報交換の場(機会)が少ない。 【関係者間の横のつながりの希薄】	・日々の業務で送迎時のわずかな時間内での情報交換になってしまっている。 ・担当者会議や市主催の部会等あまり多く開催されていない為、機会が少ない。	・限られた時間や回数を有効に活用し、一つ一つの内容を濃いものにしていく。 ・必要に応じてこちらからも関われる機会を設け、顔の見える関係性を意識していく。